

# 競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2016年度 公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって競技を行う。
2. 今大会は、本競技場及び補助競技場（男子八種競技、走幅跳）を使用する。

## 3. 競技者の招集について

- (1) 招集所は競技場第1ゲート側の外に設ける。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、すべてその競技の開始時刻を基準として下記の通りとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	20分前	15分前	棒 高 跳	65分前	60分前
フィールド競技	35分前	30分前	ハンマー投	65分前	60分前

## (3) 招集方法

- (イ) 競技者は出場種目の招集開始時刻がきたら招集所にてチェックを行う。事前に一次点呼として掲示板のリストに○印をつける。
- (ロ) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。
- (ハ) 他の種目と兼ねて出場する競技者は、その旨を競技者係に申し出て出場を確認する。
- (ニ) 混成競技については、第1日目及び第2日目の最初の競技のみ招集所で点呼を受けるが、2種目以降は、混成競技係からチェックを受けること。それぞれの競技場所へは混成競技係が誘導する。

## 4. 競技場への入退場について

- (1) 入退場は必ず競技役員の指示に従うこと。競技者以外はトラック、フィールド内に立ち入ることはできない。
- (2) トラック競技出場者は、フィニッシュ後、第2ゲートを通り退場する。
- (3) フィールド競技出場者の退場については、当該競技役員または場内司令の指示に従うこと。

## 5. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは交付された大きさのまま使用し、必ずユニホームの胸・背に確実に付けること。ただし跳躍競技に出場する者は胸・背のいずれかでよい。
- (2) トラック競技出場者は腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツ右側後方につけること。
- (3) 3000m以上の競技（競歩も含む）は、レーンナンバーカードを使用する。

## 6. 走路順・試技順について

- (1) 予選における走路順・試技順は、プログラム記載どおりとする。
- (2) 準決勝以降の走路順・試技順は番組編成員で公正に抽選し決定する。プラス進出者を決める場合、同タイム者についてレーンの余裕範囲内で次のラウンドに進めるが、余裕がない場合は判定写真を拡大し、細部（電気計時1/1000）まで読みとり判定する。それでも読みとれない場合は本人または代理人によって抽選をする。

## 7. 競技について

- (1) 事故防止のため、短距離走ではフィニッシュライン到着後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- (2) リレー競走に出場するチームは、その種目の第1組目の招集完了時刻1時間前までに、オーダー用紙を競技者係に提出すること。提出時間に遅れたチームは当該種目を棄権したものとみなし処理する。
- (3) 男女の競歩競技においては制限時間を設け、それを超えた場合は競技を中止させる。（男子35分、女子40分。ただし5名までは残す）
- (4) 競技規則162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。スターターの合図は英語で行う。  
〔On your marks〕〔set〕。混成競技においては不正スタートは1回のみ許されるが、その後不正スタートをした競技者はすべて失格とする。
- (5) 助力については、競技場内での助力は禁止とするが、スタンドからの助言については競技運営や他の競技者の競技妨げにならない範囲で認める。ただし、ビデオ・携帯電話もしくは類似の機器等を競技者に見せることは可能だが、競技者が試技場内に持ち込むことはできない。

## 8. バーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りである。

種 目	練 習	1						備 考
		1	2	3	4	5		
男子走高跳	予選	1 m70	1 m75	1 m80				
	決勝	1 m75	1 m80	1 m85	1 m90	1 m93	1 m96	以降3cm刻みとする
女子走高跳	予選	1 m40	1 m45	1 m48				
	決勝	1 m45	1 m48	1 m51	1 m54	1 m57	1 m60	以降3cm刻みとする
棒 高 跳	決勝	3 m10	3 m20	3 m30	3 m40	3 m50	3 m60	以降10cm刻みとする

- (2) 走高跳・棒高跳で第1位及び全道大会出場権決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。
- (3) 混成競技については、混成競技審判長が決定する。

## 9. 予選通過記録

	走高跳	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	やり投
男 子	1 m80	6 m30	12m80	10m50	28m50	46m00
女 子	1 m48	5 m00	—	8 m50	27m00	29m00

※天候その他によって通過記録の変更もありうる。

## 10. 競技に使用する器具は、全て主催者が用意したものを使用しなければならない。やりは検定を受けて通ったものを使用することができる。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有のものを使用できる。

## 11. スパイクの長さは、9mmをこえてはならない。走高跳、やり投は12mmをこえてはならない。

## 12. 各種目8位までの入賞者は、競技終了後ただちに表彰する。（代理でも良い）

## 13. その他

- (1) 競技終了後、全道大会出場権を得た競技者の監督は、全道大会申込みを完了すること。
- (2) 各種目の全道大会出場権は、下記の順位である。

種 目	100m	200m	400m	800m	1500m	3000m	5000m	100H	110H	400H	3000SC	競 歩
男	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	5
女	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	5
種 目	400R	1600R	走高跳	棒高跳	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投	混成競技	
男	16	16	12	10	12	12	12	12	8	12	8	
女	16	16	12	12	12	12	12	12	12	12	8	

- (3) 第1日目の補助競技場の走幅跳ピットは、男子八種競技の走幅跳で使用するため10時00分から13時00分までの間は使用を制限する。